

ナゴムだより

伊勢内科・小児科



2021年
第17号

澄み切った青空が広がり、過ごしやすい秋の季節を迎えました。気温の変化により、体調を崩しやすくなります。衣服の調節、早寝早起き、手洗い、うがいなど健康的な生活を心がけ、元気に過ごせるようにしましょう。

全国的に猛威を振っている新型コロナウイルス感染症。

子どもへの感染も広がっており、病児保育でも感染対策を今まで以上に徹底しています。お子様をお預かりさせていただくにあたり以下のことをお願いしております。早く新型コロナウイルス感染症が消息することを願い、気を引き締めて感染対策を続けていきましょう。

ナゴム病児保育室での感染予防対策について

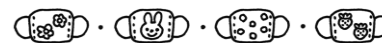
ナゴム病児保育室では、新型コロナウイルスの感染予防対策として、保育室の定期的な換気やおもちゃ消毒、職員においても、検温や診察など定期的な体調チェックを行い感染対策に努めております。

また、病児保育室を利用される方にも次のことをお願いしております。

- * 利用児と同居されている方の体調や行動履歴等を問診票に記入
- * 入室前に保護者付き添いのもと診察
医師の判断により抗原検査をさせていただく場合があります
(当面の間は8時から8時半のお預かりはできません)

* 利用後、2週間以内に利用児と接触があった方が新型コロナウイルスに罹患した際には、ナゴム病児保育室まで連絡をいただくこと
保護者の方には、お仕事前のお忙しい時間帯になるかと思いますが、お子さまにとって、より安心、安全な環境で保育看護できるよう、職員一同取り組んでいきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

子どもの感染症について



子どもは集団生活の中で様々なかぜ、感染症にかかりながら徐々に抵抗力を身につけていきます。子どものうちにかかって、きちんと免疫を獲得しておくべき病気もあれば、ワクチンで防いだ方がよいタイプの病気もあります。中には重症化しやすい感染症もありますので注意が必要です。

感染症とは？

ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入し、症状が出る病気のことをいいます。感染症の中には、発症すると重症化し、合併症を引き起こすものもあります。

潜伏期間は…

感染症は、病原体が体内に侵入してから症状が現れるまでの期間を潜伏期間といい、潜伏期間は病原体によって異なります。

予防接種を受けましょう

感染症の中には、予防接種を受けることで免疫をつけ、予防できるものがあります。予防接種を受けさせましょう。

主な感染経路

- * 飛沫感染…感染している人が咳やくしゃみをした時に近くにいる人が吸い込むことで感染。
- * 空気感染…感染している人が、くしゃみをしたときに病原体が空気の流れによって広がりそれを吸い込むことで感染。
- * 経口感染…病原微生物の混入した飲食物などを摂取して感染。
- * 接触感染…感染源である人に触れることで伝播する直接接触感染(握手、抱っこ等)汚染されたものを介して伝播する間接触感染(ドアノブ、手すり、遊具等)



例年ですと、インフルエンザ感染症が流行する時期です。お子様が通っている施設の流行を把握しておくことも対策の一つです。いつもより機嫌が悪いかな？元気がない？などいつもと違う様子があれば体調が悪くなるサインかもしれません。早期対応に繋がりますのでお子様の状態を把握しておきましょう。基本的な感染対策をしっかりして元気に過ごしましょう。